

KITAGAWA MASTIC ASPHALT SERIES

K-MAS ベース Type: R

基層のパフォーマンスアップ!

舗装の機能はますます多様化してきており、これらのほとんどは舗装の表層がそれを受け持っています。この表層の機能をより永く維持していくために、舗装構造全体と表層を橋渡しするものとして基層の重要性が再認識されなければなりません。中でもわだち掘れは舗装の機能破損として最も顕著なものであり、基層に起因する塑性流動は高機能・高価な表層のパフォーマンスを早期に減じてしまうものです。超重交通路線以外の道路に対して、ストアスペースで粗粒度アスコンの2倍程度の動的安定度を有する **K-MASベース:R** を提案します。

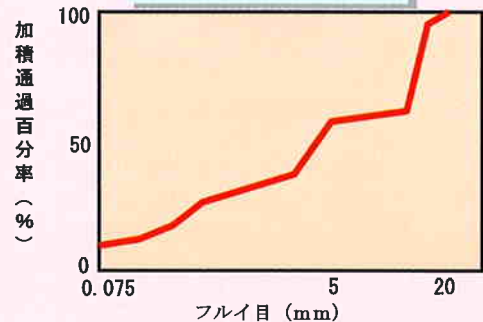


K-MASベース:R

K-MASベース:Rは、粗骨材中にギャップ粒度を持つとともに、フィラーを粗粒度アスコンよりやや多めに配合した、セミ碎石マスチック混合物です。粗粒度アスコンの2倍近い5号碎石が舗装体中で強固な骨格構造を形成するため耐流動性が高く、耐水性にも優れています。

	粗粒度アスコン	K-MASベース:R
2.5mm通過量 (%)	28.5	32.6
空隙率 (%)	5.6	4.0
動的安定度 (回/mm)	1189	2570
曲げひずみ : -10℃	5.1×10^{-4}	5.0×10^{-4}
加圧透水量 (cm ³)	2655	730

代表的な粒度の一例

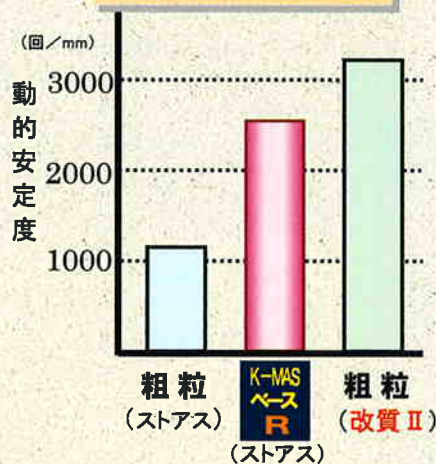


耐流動性

粗粒度アスコンの2倍程度の動的安定度が得られ、超重交通路線以外の道路において低コストで流動対策が行えます。

更に空隙率が4%程度であることから、同5%を超える粗粒度アスコンに比較して、耐水性も優れています。そのため、特に積雪寒冷地における排水性舗装の基層として、基層の流動対策も同時に行う場合に有効です。

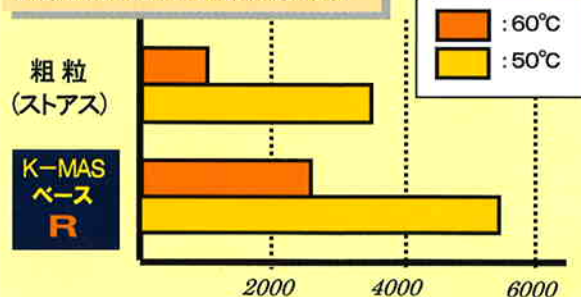
ホイールトラッキング試験



10cm厚さの供試体による
ホイールトラッキング試験



試験温度の違いによる動的安定度



種 類	動的安定度
粗粒度アスコン	1,000~1,200
大粒径アスコン	1,400~1,700
K-MASベース:R	2,000~2,700

※ いずれもストアス使用

